

豊田市の幹線道路網整備に関する要望書

世界をリードするものづくり中枢都市 豊田市

国際競争力の強化

安全・安心なまちづくり

世界につながる
自動車製造ネットワーク

広域的な人流・物流を
支える道路ネットワーク

名古屋港

衣浦港

最重点要望路線

雇用を支える製造業
ものづくり産業の集積地

空飛ぶクルマと歩行領域EV
多様なモビリティの開発

世界屈指のテストコースを併設する
トヨタテクニカルセンター下山
新たな研究開発施設

FIA世界ラリー選手権
FORUM8 RALLY JAPAN 2023
山間振興・交通安全・自動車産業振興

令和5年7月

豊田市幹線道路整備促進協議会



我が国は、コロナ禍からの経済社会活動の正常化が進み、経済の緩やかな持ち直しが続いています。一方で、深刻さを増す世界規模での気候変動や災害問題、資源価格高騰等による社会経済、国民生活への甚大な影響をはじめ経済を取り巻く環境の厳しさが増すなど、内外の難局に直面しています。また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組、経済安全保障の強化、分散型の国づくり等の新たな時代の課題にも適切に対応しなければなりません。

世界をリードするものづくり産業の中核都市である本市においても、慢性的な交通渋滞による経済損失、南海トラフ地震等の大規模地震の切迫や気候変動に伴い連年発生する風水害、加速化するインフラ施設の老朽化など、我が国同様に様々な課題を抱えています。

このような状況に加え、自動車産業の100年に一度の大変革期の最中にありより一層厳しさを増す中で、ものづくり産業の中核としてこれまで以上に日本経済を牽引し経済社会活動の確実な回復と経済好循環を加速・拡大させるためには、生産性の向上や国際競争力の強化などストック効果を最大化し波及効果の大きいプロジェクト等を展開することが不可欠です。さらに、防災・減災が主流となる安全・安心な社会の構築が必要です。

これらを進めるうえで、道路はポストコロナ社会の持続的な経済成長を支えるとともに、市民の命と暮らしを守り抜き未曾有の危機を克服する重要な社会基盤であることから、引き続き人流・物流の円滑化を図る道路ネットワークの構築、インフラメンテナンス及びDXの推進などの防災・減災、国土強靱化の加速化、通学路等の交通安全対策を積極的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえ、下記の事項について特段の配慮をよろしくお願いいたします。

- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと**
- 2 経済活動復興や豊かで活力ある地方創りに資する道路ネットワークの整備について、計画的かつ着実に推進すること**
とりわけ、国道155号豊田南バイパスについては、開通見通しを早期公表すること
- 3 道路整備・管理に対する地方の切実なニーズを十分に踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも、必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう新たな財源を創設するとともに、国・地方を合わせた令和6年度道路関係予算総額の満額確保を図ること**

153 155 「100年に一度の大変革期」を迎える自動車産業を支え国土基盤の高質化に資する道路整備

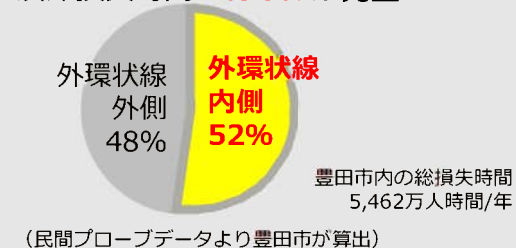
国道155号豊田南バイパス 国道153号豊田北バイパス ～広域的なネットワークを形成する外環状線～
経済成長を支える人やモノの移動を安全で円滑に行い、生産性の向上や国際競争力の強化など社会の持続可能性を高める
ストック効果を最大化する環状道路の早期整備が必要です。

交通課題

主要な幹線道路が通過する
中心市街地で多数の渋滞が発生し、
市民生活や企業活動を阻害



外環状線内側で市内の
渋滞損失時間の約半数が発生



豊田市を取り巻く主な社会環境と課題

- 超高齢社会の進展や生産年齢人口の減少
- 産業構造の大転換(CASEやMaaS,国際競争力の激化等)
- カーボンニュートラルの実現
- 大規模自然災害・気候変動
- 持続可能な開発目標 (SDGs)

自動車産業の一大集積地における
物流の速達性や定時性を向上

成長と分配
の好循環

- 物流の効率化による生産性の向上や国際競争力の強化
- カーボンニュートラルへの適応や資源価格高騰への対応を物流の円滑化によりサポート

豊田南バイパス利用時の移動時間の変化



豊田南バイパスの開通見通しの早期公表を強く要望

世界につながる自動車製造ネットワーク



民間投資・需要を喚起

- 開通への期待から地域開発が進展

土地区画整理事業

浄水・四郷・平戸橋
5,540戸 185ha
令和3年9月
全区画契約済(5社)
令和4年度～
順次操業開始
(R5.3時点1社)



災害時には強靱な命綱として機能を発揮

- 幹線道路ネットワークの環状機能強化により
災害時においても市民生活や企業活動を維持



豊田厚生病院 (第3次救急医療施設) 15分圏域の変化

【現状】	面積	【整備後】	【現状】	人口	【整備後】
約40km ²	約1.5倍	約59km ²	約11.1万人	約5.1万人 増加	約16.2万人



広域な人流・物流を支え強靱で信頼性の高い道路ネットワーク整備

国道153号 伊勢神改良 ～狭隘トンネルと雨量規制区間の早期解消～

広域な危険物輸送、地域間における災害時や救急救命活動時の物資や人の搬送を支えるため、狭隘トンネルの早期解消が必要です。

交通課題

●狭隘トンネルと雨量規制がエネルギーの安定した供給を阻害

●急勾配箇所や急カーブ等がスムーズな走行を阻害

伊勢神トンネル

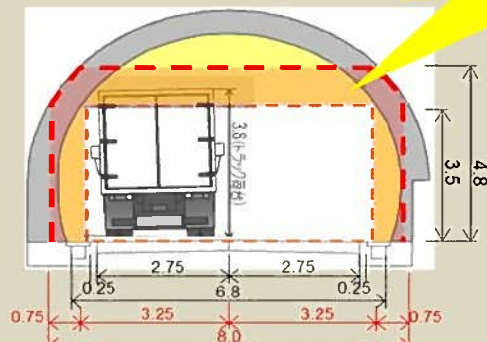
唯一の高さ制限 (H=3.5m)

中部地方整備局管内の直轄国道で唯一存在！ (昭和33年制定道路構造令に準拠)



大型車は中央線をはみ出して走行

昭和35年7月完成
断面不足！



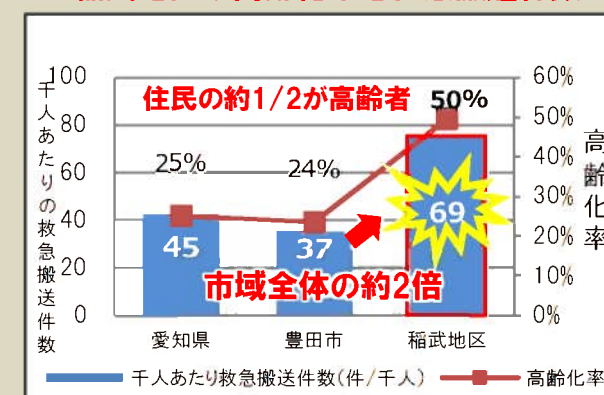
唯一の異常気象時通行規制区間

愛知県内の直轄国道で唯一存在！
(連続雨量150mm)



令和5年6月の豪雨では約10時間に及び
通行止めが発生

稲武地区の高齢化率と救急搬送件数



愛知県消防年報、豊田市救急統計、速報とうけいとより豊田市作成

●人やモノの安全で確実な移動を実現する「命の道」●地域を道路ネットワークでつなぐ地方創生の最重要路線

- 広域な危険物輸送の唯一のルートとして安定したエネルギー供給により生産性を向上
- 『地域住民の命をまもる』第2次救急医療施設や『命の砦』第3次救急医療施設へのアクセス性が向上

- リニア開通後は稲武から足助、西三河をつなぐ最重要路線
- 重点「道の駅」～どんぐりの里いなぶ～を拠点とした地方創生

危険物積載車両

116台/日 (平日)

〈平成22年2月名古屋国道事務所調査〉



危険物
積載車両
通行禁止

高さ制限

異常気象時
通行規制区間



国道153号が名古屋-飯田間の唯一のルート！
重要物流道路に指定！



伊勢神改良
をラリー車
が激走！



重点「道の駅」で
パブリックビューイング
を開催

ラリーを生かしたまちづくり(山村振興)



国道153号は、稲武地区の地域医療を担う足助病院への唯一の道です。
天候による通行止めが解消されれば、いつでも安心して病院へ行ける、
まさに命の道です。

地域の声



伊勢神改良の早期開通を要望

国道301号 松平バイパス ～トヨタテクニカルセンター下山へのアクセス道路整備～

国際競争力・都市間競争力を高め、更なる産業の活性化を図るため新たな産業拠点へのアクセス道路の整備が必要です。

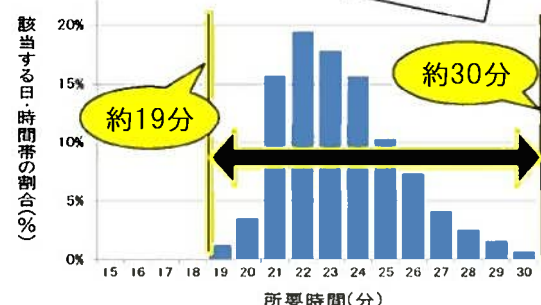
○下山地区に新たな研究開発施設として開設されたトヨタテクニカルセンター下山は、豊田市がものづくり中枢都市として中長期の将来にわたる力強い成長を実現させる成長基盤です。

○施設への安全で円滑なアクセス道路を確保するため、**国道301号の整備** が必要です。

交通課題

野見山拡幅区間～研究開発施設の所要時間のバラツキが大きい

渋滞の遅れを余裕時間として見込むため
所要時間のバラツキは生産性低下に直結する

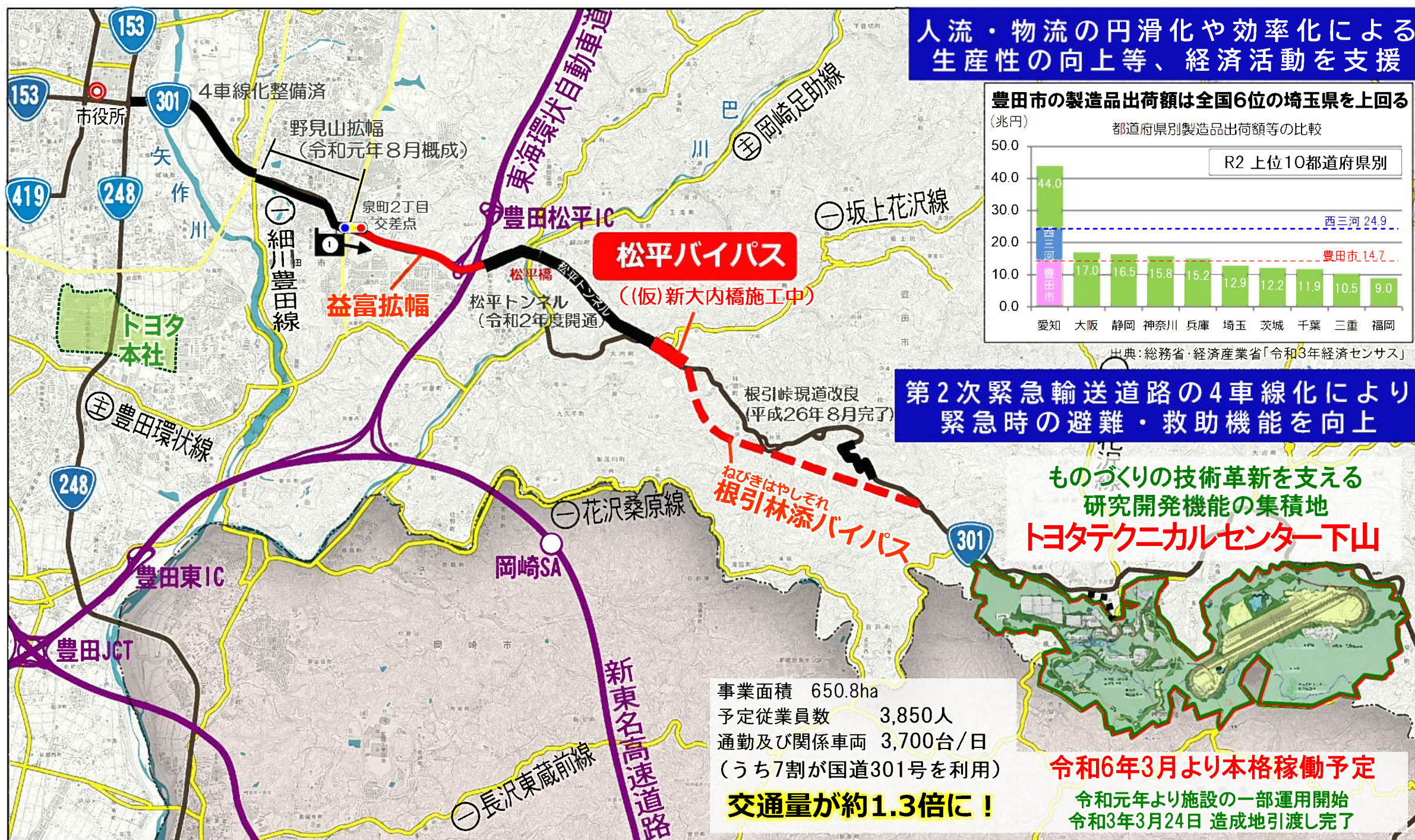


松平橋を先頭に混雑が発生（写真①）

泉町2丁目交差点から東を撮影



急カーブ・急こう配など線形不良箇所が点在



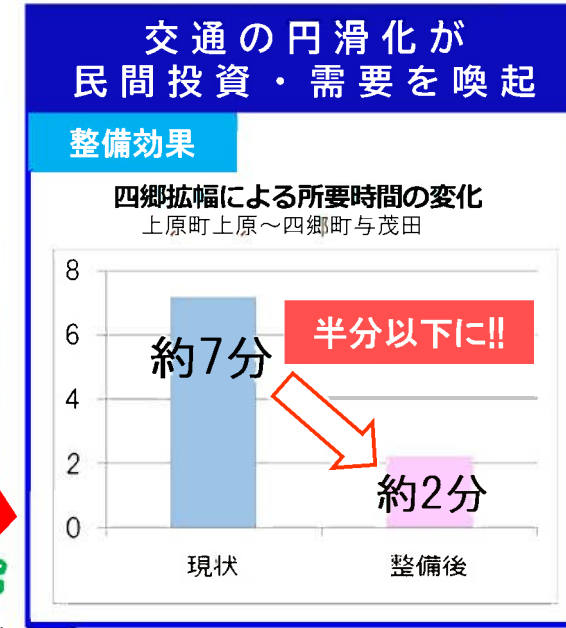
持続可能な都市の発展を実現する道路整備

国道419号 四郷拡幅 ～交通需要の増加に合わせた4車線化整備～

円滑な人流・物流を確保し、定住人口の増加や、企業活動を支えるため、土地区画整理事業や産業団地の拡張事業に合わせた道路の整備が必要です。

○中心市街地から東海環状自動車道豊田藤岡 I Cへのアクセスである本事業区間は、交通量が多く、慢性的な渋滞が発生しています。

○現在、国道419号周辺では、四郷駅周辺での土地区画整理事業や花本産業団地の拡張事業などを推進しており、事業の進展に伴う交通需要の更なる増加に対応するため、**国道419号の整備**が必要です。



国道419号周辺土地利用状況(R4.12撮影)

(民間プローブデータより豊田市が算出)

安全・安心な道路空間の構築

日本の未来を担う子供達の安全・安心を守るため、地域の実状に応じた通学路等の交通安全対策の強化・推進が必要です。

国道153号 交通安全対策 歩道整備事業（直轄事業）



小田木地区（事業中）



野入地区



平成24年度にはバス停付近で小学生×自動車の死亡事故発生

新規事業化を要望

名古屋圏と三河山間部を結び、恵那山トンネルを回避する危険物積載車両の代替路線である国道153号において、歩道整備により歩行者等の安全性を向上

豊田市事業

通学路における合同点検の結果を踏まえた交通安全対策

対策箇所数 116箇所 令和5年度完了予定
うち92箇所実施済（暫定整備含む）

例：路面表示による運転者への注意喚起



災害に屈しない強靱なまちづくり

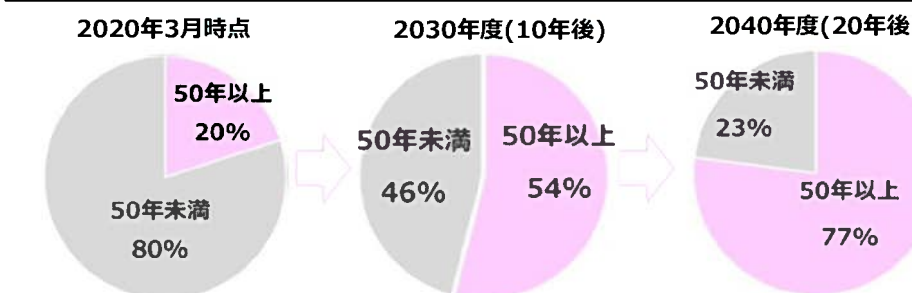
災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全・安心な社会の構築するため、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策等の着実な推進に向けた予算の確保が必要です。

計画的なメンテナンスのための予算の確保

豊田市が管理する主要な道路インフラ

道路管理延長	： 約2,550km	愛知県下 第2位
橋りょう	： 約1,200橋	愛知県下 第3位
横断歩道橋	： 40橋	愛知県下 第1位

愛知県下トップクラスの道路施設管理数

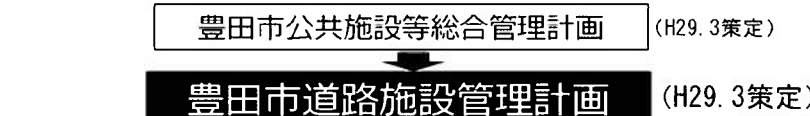


20年後には約80%の橋りょうが50年を経過

戦略的インフラマネジメントの推進

建設後50年を経過した橋りょう数の推移（2020年3月時点）

◆予防保全型メンテナンス



- 維持管理事業費の縮減・平準化
- 老朽化を起因とする重大事故ゼロ

舗装	橋りょう	横断歩道橋	トンネル	シールド	大型カルバート	道路付属施設	道路土工構造物
189km	1,183橋	40橋	3本	2基	8箇所	門型標識:5基	646箇所

1巡目の橋りょう定期点検結果 (H26~H30)

約120橋(約10%)が修繕対象に

長寿命化修繕計画に基づき修繕を実施
105橋(約88%)完了 (R3末時点)

デジタル化の推進（デジタル田園都市国家構想交付金）

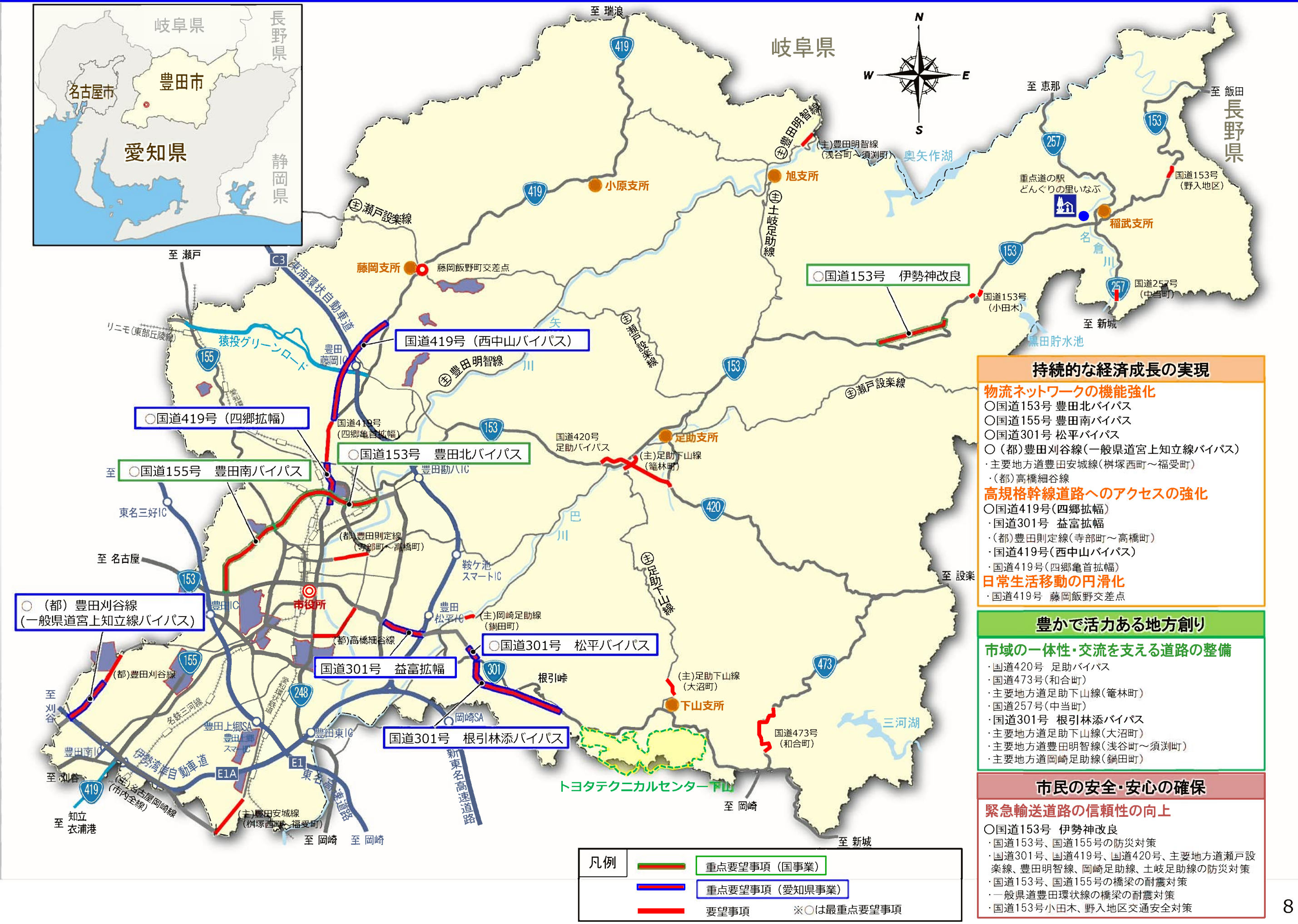
舗装点検システム、インフラ管理データベースの導入を検討中（システムイメージ）



●将来を見据えた持続可能で効率的な維持管理

補修状況等をデータベース化（統合型GISにて一元管理）

豊田市の幹線道路網整備等に関する要望路線【位置図】(参考)



令和5年 7月26日

豊田市幹線道路整備促進協議会

会 長 豊 田 市 長

太 田 稔 彦

豊田市議会議長

木 本 文 也

豊田商工会議所会頭

三 宅 英 臣